

保健学専攻検査技術科学分野カリキュラムマップ

科目区分
 凡例 (再掲は薄色表示)

修士課程 必修科目	修士課程 選択必修科目	修士課程 選択科目	博士課程 必修科目	研究指導
修士課程 必修科目	修士課程 選択必修科目	修士課程 選択科目	博士課程 必修科目	研究指導

学年	学年		修士課程						博士課程				
	学修目標 (修士課程)	学修目標 (博士後期課程)	1年				2年		1年		2年	3年	
			春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期/夏学期	秋学期/冬学期	春学期/夏学期	秋学期/冬学期	通年	春学期/夏学期	秋学期/冬学期
D-1. 実践	MD-1-1. チーム医療を推進する立場から、他分野の医療者とも積極的にコミュニケーションを行い、共に課題解決に取り組むことができる。	DD-1. チーム医療を推進する立場から、他分野の医療者とも積極的にコミュニケーションを行い、組織マネジメント力およびリーダーシップをもって、共に課題解決に取り組むことができる。	国際社会とチーム医療				検査技術科学特別研究		ヘルスサイエンス論	保健学特別研究			
C-2. 評価・創造	MC-2-2. 臨床検査の新しい測定装置や測定試薬などの原理を理解し、検査の目的に応じた適切な測定方法を提案することができる。	DC-2-2. 臨床検査の新しい測定装置や測定試薬などの原理を理解し、検査技術の向上さらには新たな検査技術を開発することができる。	病態情報解析検査学演習 病態情報機能検査学演習 生体情報解析検査学演習 生体情報機能検査学演習 分子情報解析検査学演習				検査技術科学特別研究		保健学特別研究				
C-1. 適用・分析	MC-1-2. 各種臨床検査および検査結果の意味について理解し、論理的に病態を解析できる。	DC-1-2. 各種臨床検査および検査結果の意味について理解し、論理的に病態を解析することによって、新たな病態の解明に向けた考察ができる。	病態情報解析検査学 病態情報機能検査学 生体情報解析検査学 生体情報機能検査学 分子情報解析検査学				検査技術科学特別研究		病態情報解析学Ⅰ 生体情報解析学Ⅰ	病態情報解析学Ⅱ 生体情報解析学Ⅱ	保健学特別研究		
B-1. 知識・理解	MB-1-2. 専門領域の外国語論文を読み、研究・開発に活用できる幅広い知識を身につける。	DB-1-1. 専門領域の先進的な外国語論文を読み、研究・開発に活用できる幅広い知識を身につける。	病態情報解析検査学 病態情報機能検査学 生体情報解析検査学 生体情報機能検査学 分子情報解析検査学				検査技術科学特別研究		生体情報解析学Ⅰ 病態情報解析学Ⅰ 国際プレゼンテーション	生体情報解析学Ⅱ 病態情報解析学Ⅱ	保健学特別研究		
A-3. 表現・発表	MA-3. 専門領域において自分の意見を発表でき、議論する能力を身につける。	DA-3. 専門領域において外国語で自分の意見を発表でき、議論する能力を身につける。	保健医療とデータ科学				検査技術科学特別研究		保健学特別研究				
A-2. 協働	MA-2-2. 医療における他分野の役割、チーム医療の意義と重要性について理解し、他者と協働して問題解決にあたることことができる。	DA-2-1. 医療並びに社会における臨床検査技師の役割と使命について理解し、他者と協働して問題解決にあたることことができる。	国際社会とチーム医療				検査技術科学特別研究		保健学特別研究				
A-1. 主体	MA-1. 専門分野のみならず、医学・医療全般に対する興味・関心を養う。自己の考えをもつ。	DA-1. 専門分野のみならず、医学・医療全般に対する幅広い興味・関心を常にもち、学際的な視点から知識や技術を探究することができる。	保健学研究論 先端医療論 医療と生命倫理				検査技術科学特別研究		ヘルスサイエンス論	保健学特別研究			
	学修目標 (修士課程)	学修目標 (博士後期課程)	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期/夏学期	秋学期/冬学期	春学期/夏学期	秋学期/冬学期	通年	春学期/夏学期	秋学期/冬学期
	学年		1年				2年		1年		2年	3年	
	学年		修士課程						博士課程				
	アセスメント・プラン						修士中間審査		修士最終審査		博士中間審査		博士最終審査